

病理診断医 大上 直秀 先生 広島大学分子病理学教室 教授就任ご挨拶

本年10月、当検査センターの担当病理診断医である 大上 直秀 先生が、広島大学大学院 医系科学研究科 分子病理学（旧第一病理）教室 教授に就任されましたので、ご挨拶をいただきました。

大上 直秀 先生



このたび、10月1日付で広島大学分子病理学教室の教授を拝命しました大上 直秀 と申します。私は平成11年に広島大学医学部を卒業し、当時は研修制度がなかったため、直ちに分子病理学研究室（当時は病理学第一講座でした）に入局し、病理学一筋でやってまいりました。この間、田原 榮一 名誉教授、安井 弥 名誉教授にご指導賜り、消化管を主体とし、病理診断学に加えて分子病理学的研究を行ってまいりました。近年、病理診断は多様化しており、これまでの形態学的な診断に加え、治療法選択のための分子病理学的な診断も求められています。これまで培ってきました病理診断学・分子病理学を総合し、患者さんのためのよりよい診断を行っていきたいと考えています。皆様のご期待に添うべく一層の努力をいたす所存でございますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。